

科目名	国語 Japanese	科目コード	20040
-----	----------------	-------	-------

学科名・学年	電気電子システム工学科・4年（プログラム1年）
担当教員	猪平 直人（一般教育科）
区分・単位数	履修単位科目・必履修・1単位
開講時期・時間数	前期, 30時間【内訳：講義30】
教科書	『高校生のための現代思想ベーシック ちくま評論入門』（筑摩書房）
補助教材	担当者によるプリント
参考書	国語辞典など。その他、担当者が随時教示する。

### 【A. 科目の概要と関連性】

3学年までの学習活動を土台に、読解力と表現力の両面から、より高度な学習活動を展開する。語彙力や論理的な思考力・表現力などは、文章を実際に読解することによって錬成される面が大きい。そこで、4学年では、高度な内容の現代文の読解を中心として、あわせて文章作成にも取り組み、国語力の拡充を目指す。

○関連する科目：国語（1～4学年履修）、文学I（後期選択履修）・日本語文化（専攻科1年後期選択履修）

### 【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①高度な内容の論理的文章を理解する。	40%	(a1)(a2)
②豊かな語彙力を身につけ、言語感覚を磨く。	20%	(b2)
③論理的で明快な文章を書けるようにする。	40%	(b1)(b2)

### 【C. 履修上の注意】

3学年までの学習内容を復習しておくことが望ましい。また、日常の予習復習を欠かさないこと。授業に際しては、教科書を持参すること。課題は必ず期日までに提出すること。国語辞典を携帯して、適宜利用すること。さらに、日常生活における読書習慣を確立させておきたい。

### 【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（60%）【内訳：中間0, 期末60】
- その他（40%）

## 【E. 授業計画・内容】

### ● 前期

回	内容	備考
1	現代評論読解（1）	
2	現代評論読解（2）	
3	現代評論読解（3）	
4	現代評論読解（4）	
5	現代評論読解（5）	
6	文章表現力の錬成（1）	
7	文章表現力の錬成（2）	
8	文章表現力の錬成（3）	
9	現代評論読解（6）	
10	現代評論読解（7）	
11	現代評論読解（8）	
12	現代評論読解（9）	
13	現代評論読解（10）	
14	現代評論読解（11）	
—	期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	